

【NEWS RELEASE】

2025 年 7 月 28 日

各 位

株式会社三井住友銀行

大阪府・大阪市との「万博レガシーとしてのスタートアップ支援に関する連携協定」の
締結について

大阪府（知事：吉村 洋文）、大阪市（市長：横山 英幸）、株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）の三者は、大阪・関西万博開催を契機として活性化されたスタートアップ支援を、万博レガシー※1 として継続的に進めていくため、「万博レガシーとしてのスタートアップ支援に関する連携協定」（以下、「本協定」）を締結いたしました。

三井住友銀行は、スタートアップ支援を通じた新産業の創出や社会課題の解決を重要なテーマと位置づけ、地方公共団体や民間企業との連携を積極的に進めてまいりました。大阪府ならびに大阪市は、「大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム※2」を中心に、国内外から起業家・投資家を呼び込む等の取組みを展開しており、内閣府が進める「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」において、「グローバル拠点都市」にも選定されるなど、国際的なスタートアップ都市としての地位を高めています。

さらに本年 4 月より開催されている大阪・関西万博では、「未来社会の実験場」をテーマに、スタートアップが社会実装や実証に挑戦する機会が多数創出されており、三井住友銀行としても、これを万博の一過性の盛り上がりにも留めず、技術・知見・人材を地域のレガシーとして根付かせ、持続的なイノベーションを生み出す土壌づくりに貢献したいと考えております。

三井住友銀行では、大阪・うめきたエリアにおける複合型都市開発「グラングリーン大阪」の中核機能施設「JAM BASE」（大阪府大阪市北区大深町 6 番 38 号）に、スタートアップ支援・共創拠点「HOOPSLINK KANSAI」を本日開設いたしました。HOOPSLINK KANSAI では、主に①スタートアップの創業支援、②スタートアップと大企業・中堅企業の共創に取り組むことに加え、万博レガシーの社会実装等を通じ、関西スタートアップ・エコシステムの発展に貢献してまいります。

これらの取組は、大阪府ならびに大阪市が推進する「国際金融都市 OSAKA」の実現に貢献するものであり、スタートアップ支援を通じて、グローバルな資金・人材・ビジネスが集まる都市機能の強化にもつながるものです。

本協定を通じて、大阪府、大阪市および三井住友銀行は、社会課題の解決と持続的な経済成長の実現に向け、スタートアップ創出・成長促進サポートに向けた取組みを実践してまいります。

【連携・協力事項】

大阪府、大阪市および三井住友銀行は、下記の事項について連携・協力して取り組みます。

- (1) 事業会社とのマッチングや投融資の資金調達支援等によるスタートアップの創出及び成長促進に関する事
- (2) 研究シーズの資金獲得支援や協業先の開拓等によるディープテック・スタートアップの創出及び成長促進に関する事
- (3) グローバルイベントの実施等による国内外への発信強化に関する事
- (4) 万博披露技術等の社会実装に向けた支援に関する事
- (5) その他、本取組に資する取組に関する事

※1：万博レガシー

大阪・関西万博の開催を通じて、地域社会・経済・文化・技術などに中長期的に残る成果・資産等価値の総称

※2：大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム

大阪府、大阪市、関西経済同友会、大学支援機関などが連携し、スタートアップが成長・発展しやすい環境を整備するための地域横断型のコンソーシアム

以 上